

事務局

【ILSI Japan 総会】

1, 2 月	<p>平成 29 年通常総会が平成 29 年 2 月 22 日(水)10:00 より神田カンファレンスで開催された。</p> <p>審議事項</p> <p>第 1 号議案 平成 28 年度事業活動報告書案が承認されました。</p> <p>第 2 号議案 平成 28 年度決算報告書案が承認されました。</p> <p>第 3 号議案 平成 29 年度事業活動計画書案が承認されました。</p> <p>第 4 号議案 平成 29 年度収支予算書案が承認されました。</p> <p>繰越金を研究会活動に配分すべきとの提案があり、理事会で今後検討することとした。</p> <p>報告事項</p> <p>1. 本部総会報告</p> <p>2017 年の ILSI 本部総会の概要を報告。</p> <p>One ILSI 戦略を強化すべく食品安全、栄養の 2 分野に絞り、支部間協働テーマを創設すべく議論が重ねられた。詳しくはイルシー誌 No.130 及び ILSI ウェブサイト参照。</p> <p>2. 定款変更について</p> <p>2016 年の支部総会にて、役員任期を総会までにするという定款変更を決議したが、違法となるケースがあるので「不認証」との連絡を受け、変更を中止したことを説明した。</p>
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

【事務局】

1, 2 月	特になし
3, 4 月	3 月末日付にて退職者 2 名、特別顧問 浜野氏、総務担当 池畑氏。サントリーOB 太田氏と業務委嘱契約を締結し、3 月 1 日より業務開始。
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

【理事会】

1, 2 月	<p>第 1 回理事会が平成 29 年 2 月 7 日（水）15 時より開催された。</p> <p>決議事項 (総会議案)</p> <p>1. 平成 28 年度活動報告書案</p> <p>報告の手順として、「本部との関係」「トピックス」「各研究部会活動」「CHP の活動内容」とし、内容として「組織図」を入れるなど初めて出席する会員にも分かり易</p>
--------	---

	<p>くすべしとの意見に従い、修正することにした。</p> <p>2. 平成 28 年決算報告書案 繰越額について議論があり、今の額が決して多くはないとの意見が出た。また税金の支払いについて質問が出た。ILSI Japan の会計が 3 つの会計単位から構成されていることの説明が不十分の指摘があり、修正することにした。</p> <p>3. 平成 29 年度活動計画書案 CHP の活動体制整備の具体論を書き加えることとなった。新寄付講座の内容について、質問や意見が出たがさらに議論を重ねることが必要とのことで議論終了。</p> <p>4. 平成 29 年度収支予算書案 CHP の資金不足に質問が出て、新たなドナーの確保のことや本部移管検討の状況について、担当理事に対して確認があった。</p> <p>報告</p> <p>1. 支部総会報告事項</p> <p>① 本部総会報告 発表内容を事務局長が説明、特に意見はなし。</p> <p>② 定款変更 前総会にて役員任期の変更決議をし、都庁に申請したが、違法となるケースがあるため不認証となった。</p> <p>2. 健康な食事研究会 シンポジウムに、食品産業記者会の記者が参加できないことがわかり、記者説明会を設定することにした。</p> <p>3. 発展形寄付講座 質疑なし。</p> <p>4. その他 サントリーOB の太田氏が、浜野氏後任として 3/1 から事務局次長として勤務開始。</p>
3, 4 月	<p>第 2 回理事会が平成 29 年 4 月 21 日（金）15 時より開催された。</p> <p>1. 決議事項 議案 古野純典氏の理事退任承認 満場一致で承認された。</p> <p>2. 討議事項 今後の活動方針</p> <p>① 研究会活動の活性化</p> <p>ア) 健康な食事研究会状況報告 設立シンポジウム開催後の活動について事務局長より報告。 外食産業記者会への説明、入会の呼びかけ、参加企業名、JST 未来社会創造事業への申請、第 1 回研究会開催予定、組織案。</p> <p>イ) 発展型寄付講座創設に向けて - タスクフォースによる方向付けの中間報告 安全性に関わるテーマの具体化：産業界からの要望ヒアリング、識者との動物実験代替に関する議論 中間報告：①食品安全性の新たなプラットフォーム構築、 ②健康リスクの回避のためのマーカー開発 以上について報告があり、その後、理事等の中で経緯の説明や討議がされた。</p> <p>ウ) 研究会・研究部会への活動支援 予算策定に合わせ、各会より活動計画とその概算要求を提出いただき、それを理事会で審査、来年の支給額を決定する。</p> <p>② 公共性明確化・ガバナンス強化</p>

	<p>ア) 本部理事会の役割の明確化 本部理事会と支部のコミュニケーション不足を理由に「英文:本部理事会の役割」資料を読み、各支部の認識を深めるよう指示があり、理事会に事務局長が説明。 ILSIは公益のための組織であること、企業の利益のために動くのではないこと等。</p> <p>イ) 策定すべき指針 (Mandatory policies) の実行 理事の利益相反関係宣誓書、事務局長の職務記述書、文書保管廃棄指針、旅費精算指針等を日本語に翻訳、日本支部版用に編集し、7月の理事会で確認予定。</p> <p>③ 事務局の強化・効率化</p> <p>ア) 事務局会議の設置；月1回、理事長参加の次長以上の会議 目的；事務局業務の共有と整理、課題・対応についての議論・検討、改善の実施等。</p> <p>イ) イルシー誌合理化検討；課題 事務局長より説明。イルシー誌の課題は以下の通り。 ・あまり価値が高くないと一部では認識されている。 ・各号のテーマが必ずしも明快ではない。 ・（ストックが多く）物理的に事務所の場所を占めている。 対応策としてたたき台は以下の通り。 ○内容の見直し 機関紙に特化し、書下ろしは別出版物に。 ○媒体の変更 紙を電子媒体へ変えネット配信（アクセス権管理がかなり複雑になるが）。 対応策に対して以下のような意見が出た。 ・タイムリーな Newsletter 形式と定期の精選した紙媒体に分ける。 ・広く出す情報と会員の特典をはっきり区分すべき。 ・アクセス権は短期間限定（1年程度）で、それが過ぎたら会員以外にもフリーにする。 ・紙媒体は、会員以外にも贈呈できる便利さがある。 再度整理して、事務局より理事会に提案する。</p>
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	